

## 2014 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	経済学部	身分	教授
氏名	新井 洋一		
NAME	Yoichi Arai		

## 1. 研究課題

(和文) BYU Corpora の総合的研究

(英文) The Comprehensive Study of BYU Corpora

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文) Brigham Young University の Mark Davies 教授による BYU Corpora は、無料で使えるオンライン版英語コーパスコンコーダンサーとして、現在世界中でもっとも利用頻度の高い言語分析ツールのひとつである。BYU Corpora は、BNC, COCA, TIME, Soap Drama, COHA などの複数のコーパスをまとめた総称であり、特に、BNC, COCA, COHA は利用頻度が高く、ここ数年、急速に利用頻度が高まっている。

この流れを背景に、本研究では、BYU Corpora の特長、問題点、解決法をまとめると共に、特に口語の英語表現に焦点をあてながら、BYU Corpora のデータを活用し、言語分析を進めることにした。2015年3月には渡米し、Mark Davies 教授にも直接会い、短期間ながら学問的親交を深め、多くの興味深い知見を得ることができた。また口語英語表現分析のため、英語の映画やドラマの収集も進めることができた。

研究期間の終わりには、本研究の成果のひとつとして、アメリカ英語における「CN be IB 構文」について論文にまとめることができた。アメリカの口語英語に特徴的なこの構文の分析は、BYU Corpora を使ってこそ初めて可能な研究課題であり、BYU Corpora の中でも、特に COCA と COHA をフル活用し、共時的および通時的な分析と考察をおこなった論文であり、新たな言語学的知見も含んだ 51 ページの論文である。論文名は「談話標識表現 *The N be*, (CN-be-IB 構文) と米語におけるその通時的発達」であり、人文科学研究所の共同研究チームの主査として取り組んだ研究叢書『文法記述の諸相 II』に収められ、共著書として 2016 年 3 月に出版された。

(英文) BYU Corpora, which was invented and has been developed by Professor Mark Davies, is one of the most popular web-based linguistic corpora with powerful concordance functions.

The present study enabled me to go to the U.S and to meet and exchange academic ideas with him directly in March 2015. The encounter also gave me a lot of interesting information and insight to encourage me to write a paper on "CN-be-IB" constructions in American English, which deals not only synchronically but diachronically with the spoken American expressions like *the fact is*, *the truth is*, *the thing is*, and so on. The paper was included in the linguistic monograph *Aspects of Grammatical Descriptions II*, which was published by Institute of Cultural Science of Chuo University in March 2016.

【注意事項】①記入された業績は、学事部企画課で研究者情報データベースに代理登録をします (大学公式ホームページの公開ページとなります)

②業績ページが多い場合や代理登録時に必要なデータが不足する場合は、学事部企画課より問い合わせをさせていただきます。

3. 研究成果について (研究期間終了後2年以内・予定のものを含めて記入) ※記入欄が不足する場合は、適宜追加ください。

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題				
	執筆者				掲載誌名称			
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他(随筆等)			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題				
	執筆者				掲載誌名称			
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他(随筆等)			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

論文	発行年(西暦)・月	年	月	論文標題				
	執筆者				掲載誌名称			
	巻・号・頁				種別	大学・研究所等紀要、学術雑誌、その他		
	区分	学術論文誌、国際会議、本学機関誌、その他(随筆等)			種類	論文、翻訳、判例評釈、書評・評論、解説、その他	査読	有・無

著書	発行年(西暦)・月	2016	年	3	月	著書題目	文法記述の諸相 II	
	出版社	中央大学人文科学研究所				区分	著書、訳書、その他	
	種類	著書、編集、編著書、 <u>共著</u> 、共編著、翻訳、その他				担当頁数	255 ~ 306	
	著者名	新井 洋一				共著者等氏名	野田時寛・遠藤雅裕・林明子	

著書	発行年(西暦)・月	年	月	著書題目				
	出版社				区分	著書、訳書、その他		
	種類	著書、編集、編著書、共著、共編著、翻訳、その他			担当頁数	~		
	著者名				共著者等氏名			

口頭発表	発表年(西暦)・月	年	月	会議名等				
	種類	口頭発表、ポスター、学術講演、一般講演、対談・鼎談、学会・研究会報告、その他						
	発表題目							